

議案第4号

# 平成29年度 事業計画(案)

社会福祉法人いわせ長寿会

特別養護老人ホームいわせ長寿苑

ショートステイいわせ長寿苑

デイサービスいわせ長寿苑

いわせ長寿苑居宅介護支援事業所

訪問介護いわせ長寿苑

介護職員初任者研修事業

## I 運営理念

### 「共に生き わかちあえる毎日」

いわせ長寿会は、「共に生き わかちあえる毎日」を運営理念として、利用者、家族、地域、職員を4つの柱として、それらが一体となって家庭的な雰囲気の中で生活が送られるよう開放的な運営を目指していきます。お一人おひとりの人権を尊重し、長寿を共に喜ぶことのできる施設として役職員一同力を併せて努力してまいります。

## II 運営方針等について

### 1、基本方針

本年度も運営理念実現のために、特別養護老人ホームにおいては、生活感の創造、外出外泊の推進、24時間シートを活用した個別介護の徹底等ユニットケアの向上を目指すと共に、嘱託医との連携により看取り介護の充実を図りながら稼働率97.5%を目指します。ショートステイにおいては、より多くの利用者ニーズに対応すべく、サービスの個別対応・即応性の強化を図り、稼働率84.8%を目指します。デイサービスにおいては、本年度も多くのボランティアの方々の協力のもと多様なサービスプログラムの実践に取り組みながら、登録人数の増加を図り、稼働率87%を目指します。居宅介護支援事業所においては、行政・地域包括支援センター・医療機関・事業所等他との連携を強化し、地域包括ケアシステムの一旦を担う役割をより意識してまいります。更には新規事業として、訪問介護事業を開始予定とし、これは岩瀬・長沼地区において現在1ヶ所しか事業所がないという現状を踏まえ、地域の社会資源及び地域福祉の充実を図り、自立支援と在宅での継続生活をサポートして地域包括ケアシステムの構築にも大きな役割と期待を担ってまいります。

また、今般の社会福祉法の改定により、より充実した社会福祉法人としての社会的役割の為に、地域貢献を意識した法人運営が求められ、更には、医療・介護サービスのネットワーク構築を推進する平成30年の医療・介護の同時改定を見据えた準備も必要になってまいります。この様な社会背景を踏まえて、今年度は「いわせ長寿苑の廊下と地域を繋ぐ」をモットーに地域との結びつきを意識した取り組みと実践により、多様化する福祉ニーズに計画的かつ柔軟に対応したサービスの充実を図ってまいります。

## 2、利用者処遇の向上・充実（特別養護老人ホーム）

開設から9年目を迎える いわせ長寿苑では、自宅に近い環境の中で利用者・職員が共同生活を送り、一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていく事をサポートしながら「暮らしの継続」を図っています。

いわせ長寿苑では、24時間シートという個人ごとに作成するツールを用いて利用者処遇の向上と充実を図っております。この24時間シートの作成にあたっては他職種間の協働によって定期的に見直しを図り、常に各利用者の身体状況や生活状況に合ったサービス提供が行えるように取り組んでいます。又、ご家族とのコミュニケーションや協力を得て、個室を「自宅」とした生活空間の充実を目指し、共同生活場所の空間においても、季節を感じる壁面装飾や昔馴染みの箆笥やテーブル等を取り入れて、直接的な充実はもとより間接的な住環境への配慮にも力を入れています。

また、利用者処遇に欠かせない利用者の情報共有においては、iPadを活用し常に最新の情報が確認、共有しながら介護記録等の負担軽減を図り ICT（情報処理・通信技術）導入活用で業務効率化を図っています。

### （1）食事

日々の生活の中で一番の楽しみである食事は、嗜好、健康状態に対応した食事の提供に努め、提供時間や食事内容等個別的な取り組みを強化した中でも家庭的な雰囲気ですら食事が楽しめるような雰囲気作りにも配慮した食事提供を心掛けていきます。

- ①栄養マネジメントの実践を踏まえ、定期的な嗜好調査や食事状況のアセスメントを行い、個々人の最適な栄養ケアを目指し、栄養状態・健康状態の改善に取り組みながら生活の質（QOL）の向上を目指していきます。
- ②経口維持加算を実施継続し、利用者の方々へ口から食べる支援の充実の為に他職種間による意見交換の充実や食事介助等における技術的向上を目指して取り組んで参ります。
- ③食事前の口腔体操や歯科医院のご協力のもと定期的な口腔ケアや口腔指導を頂き、よりおいしく食事が頂ける体づくりやおいしさを感じ取れる口内環境を整えていきます。
- ④厨房をはじめ食品の衛生管理には万全を期し、0-157やノロウイルスをはじめとする食中毒の予防を徹底し、その防止策として職員教育や衛生意識の向上に努め、委託業者には、定期的開催している栄養管理委員会に出席いただき、よりよい食事の提供と食の安全に努めていけるよう現場職員との意見交換を活発に実践して参ります。

## (2) 入浴

ユニット内個浴は温泉入浴でアルカリ性単純泉です。神経痛や疲労回復、健康増進等に適応し身体の清潔と心身のリラクセスの場としてゆっくり快適に入浴していただけます。また、利用者の状況に応じた入浴方法の実施（機械浴・個浴）により安心・安全な入浴提供に努めていきます。

## (3) 排せつ

自立した日常生活を送る上で排泄コントロールは必要不可欠なもので排泄の支援は生活全般の支援にもつながります。1人1人の適切なタイミングで排泄ケアを実施する事で尊厳のある生活の実現につなげます。

## (4) 身体拘束廃止の取組

身体拘束は、人権尊重の観点からも生活の質を損なうことになることを職員全員が共有し、身体拘束ゼロを目指します。ただし、利用者の様態により、生命または身体を保護するためやむを得ない場合や、緊急やむを得ない場合を除き、必要と判断した場合は、家族の承諾を得て一時的に行動制限を行います。定期的な「身体拘束ゼロ対策運営委員会」を開催し、廃止の方法を探りながら更に虐待防止に向けた取り組みとして職員教育システムの構築や言葉の暴力等をなくす事等を実践して参ります。

## (5) 健康管理

利用者が安心して生活ができるよう健康管理に努め、疾病の予防、早期発見に努めます。

- ①利用者の心身の状態を把握し、嘱託医師の指示に従いながら適切な処置を行い速やかにご家族への状態報告を行って本人、家族の意向を尊重して対応していきます。
- ②年々増加傾向である終末期ケアについては、看取り指針に基づき、利用者、家族、嘱託医と十分な合意形成を図り適切に対応して参ります。

## (6) 防災・防犯計画

火災もしくはその他の災害が発生した場合に被害を最小限にとどめるため、日頃から防災意識を高め、有事に備えるために毎月1回訓練を行って行き、今年度からは更に水害や不審者侵入等を含めた訓練計画を実施して参ります。

### 3、働きやすい職場環境づくり

#### (1) 人材の育成

職員資質の向上を図るため、職員研修計画を策定し、職場内研修の充実を図るとともに、職場外研修についても積極的に参加を推進し、資格取得支援制度をはじめ、各種支援制度の積極的活用を推進して参ります。

また、介護職員初任者研修で職員が講師を務めることを通じて、教育指導能力とスキルの向上を目指して参ります。

#### (2) 人材の確保

人材の確保については大きな課題となっています。年間計画に基づきリクルート活動や広報活動等に力を注いで参ります。又将来的に懸念されている介護職員不足に対し EPA 制度（経済連携協定）にもとづく外国人介護福祉士の受け入れ等の検討も行って参ります。

#### (3) 職員処遇の改善

これまでトータル人事制度の実施や介護職員処遇改善交付金等において職員処遇の改善に努めて参りました。昨今の労務環境を取り巻く様々な情勢変化や介護職員不足等が懸念されている中、今後の職員処遇における見直しや対策としてキャリアマップの再構築や給与形態の見直し等計画的にすすめて参ります。

#### (4) EAP（職員支援プログラム）サービスの充実

メンタルヘルス対策として、ストレスチェック制度と併せて、職場ストレス、上司や部下との人間関係、プライベートな悩み（夫婦関係、育児、介護等）など、仕事の生産性に影響を与えている課題の原因と客観的に向き合い、サポートを行っていきます。又メンタルヘルスの1次予防とされる職場環境改善計画に基づき積極的に取り組んで参ります。

### 4、災害に強い施設づくり

#### (1) BCP計画

激甚災害や、新型インフルエンザ等の流行、水害や不審者侵入時等に際し、利用者、職員の安全確保に努めながら事業活動の継続を図るためにBCP（事業継続計画）計画に基づき、ポータブル発電機や利用者、職員、避難者の1週間分の非常食等を備蓄するとともに、定期的な見直しを図りながら実効性を確保して参ります。

## (2) 災害時施設相互応援協定の締結

福島県老人福祉施設協議会会員施設間において、被災していない施設が被災施設入所者等の受入、または応援職員を派遣する等相互の援助を円滑に行うための協定に参加しております。又地域における役割として須賀川市との協定により災害時における福祉避難所としての役割も担っています。

## 5、3カ年戦略計画づくり

事業の継続と経営理念の実現を図るため、いわせ長寿会3カ年戦略計画を策定いたします。計画策定にあたっては「人・物・金・情報・時間・技術」を機軸として、社会福祉法人としての社会的使命・役割と法人理念の実現にむけて持続性と蓋然性ある計画策定を行い実施して参ります。

## 6、地域連携、地域貢献

「待つのではなく赴く事」を念頭に、いわせ地区地域行事への参加や地区別集会所での研修会の実施、学校・幼稚園等の教育関係機関との連携強化等、地域一員としての役割をもって地域に赴く計画をすすめて参ります。

また福島県社会福祉協議会と社会福祉法人経営者協議会による法人間連携による地域における公益的取組試行事業として、基本事業の相談支援事業や地域に合った事業としての生活困窮緊急支援事業等他にも参加し取り組んで参ります。

## 7、広報活動

いわせ長寿苑の活動を広く知ってもらうために、ホームページの充実を図るとともに、施設と利用者、家族とのかけはしとなる広報誌「四季」を例年通り4回発行して参ります。私共の広報活動を常に検討し単に情報を発信するだけではなく社会・地域との双方向コミュニケーションの充実の為に活動して参ります。

### Ⅲ 事業所別計画について

## 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

### 特別養護老人ホーム 1 階

#### 1. 目 標

- (1) 利用者の安心した暮らしの継続と地域との交流を図る
- (2) 利用者・職員の体調管理

#### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標 (値)
財務	(1)	稼働率の維持・向上 職種間連携の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・状態変化の早期発見と健康管理に努める</li><li>・報告連絡相談の徹底及び職種間連携に努める</li></ul>	年間稼働率 98%
顧客	(1)	感染症の予防	うがい・手洗い・必要時マスクの着用を行い、感染を拡げない、持ち出さない、持ち込まない	標準予防措置策のチェック毎月
	(2)	介護事故件数軽減	<ul style="list-style-type: none"><li>・服薬に関する事故を無くす。</li><li>・介護における外傷や骨折事故を無くす。</li></ul>	・服薬事故・骨折事故 0 件
業務	(1)	日々の楽しみや役割の提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・個々の余暇活動の充実及びニーズの再確認</li><li>・24時間シートの運用</li></ul>	・24Hシートの見直し (毎月)
	(2)	毎月行事の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間行事の実施</li><li>・季節感に応じた環境整備</li><li>・外出支援の実施</li></ul>	外出月 1 回以上

人材	(1)	職員一人一人の知識・介護技術のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内で職員間の気づきの共有と、指導のツールでケアの標準化を図る。積極的な研修会への参加</li> <li>・毎月のカンファレンス会議、ユニット会議の開催によりケアの統一を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修会 年1回以上の参加</li> <li>・2回/月</li> </ul>
	(2)	働きやすいユニット環境作り	EAP を利用し職員の心と体の健康増進を図る	ストレスチェック実施、面談指導 2回/年

### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務①	日々の健康チェックをしっかりと行い、変化時は看護師へ連絡し指示を受ける。申し送りの徹底。また、転倒、転落予防の為に環境整備とアセスメントの確認を行う。 ユニット職員間・他職種間の連携の強化を図り、より一層手厚い支援を目指す。
顧客①	スタンダードプリコーションが出来ているか毎月チェックし感染予防策を正しく行えるようにする。ユニット内の環境整備・整頓に努め落ち着きのある清潔なユニットにする。
顧客②	毎月ユニット職員全員服薬チェックを行い、会議時に服薬ロールプレイを行う。ヒヤリハット報告書から原因を分析し介護技術を統一する。
業務①	個々の希望に添った余暇活動の提供を目指すと同時にニーズの再確認を行う。 利用者の生活のリズムを把握し個々にあった支援を行っていく。24時間シートの見直し・運用を図る。
業務②	年間行事に沿った計画書の作成・準備・実施・評価実施。 四季を感じられる安らぎのある空間作りを行う。 外出の機会を増やし気分転換が図れる環境作り。他ユニ



	ットと連携し利用者の希望時に外出が出来るようにする。
人材①	<p>ユニット内で職員間の気づきの共有と、指導のツールとして項目に従って指導し実践的スキルを伸ばしケアの標準化を図る。</p> <p>記録のあり方を追求できる一年にし記録の大切さをさらに知っていく。</p> <p>積極的な研修会、勉強会への参加をする。</p> <p>月一回のユニット会議内においても介護技術の勉強の場を設けていく。</p>

## 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

### 特別養護老人ホーム 2 階

#### 1. 目 標

- (1) 健康管理の徹底と、終末期でも安心して生活が送ることが出来る
- (2) 地域社会とふれあう機会を持ち自宅と変わらない生活の継続が出来る

#### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標 (値)
財務	(1)	ユニット稼働 10 名の維持	多職種と連携を図り健康管理の徹底と小さな変化のサインにも気づき速やかに対応する事が出来る	稼働率 97.5
	(2)	使用物品の定数化	使用物品の適正化を図り無駄な在庫を抱えない	物品定数化の見直し更新 2 回/年

顧客	(1)	介護事故の分析と対応策による発生件数の軽減	① 職員要因の服薬事故防止に定期的なロールプレイング実施と個別マニュアルの見直し、更新をする ② ヒヤリハットから要因を分析しケアの統一を図る	服薬事故 0件 骨折事故 0件
業務	(1)	自宅と変わらない家族との交流	面会時に家族とのコミュニケーションを取り、意見交換が出来る	苦情年間 2件以下
	(2)	整理整頓の実施と感染対策の実施	① 整理整頓することで作業の効率化を図る。 ② 毎日の清掃と感染対策の実施	作業点検 1回/月
	(3)	個別レクリエーションの計画と提供が出来る	レクリエーションを提供し施設生活での充実を図る	月間レク実施 1人 当たり 10回以上
人材	(1)	介護技術・知識の向上	① カンファレンスやユニット会議で介護技術勉強会開催し技術の向上ケアの統一を図る。また根拠を説明できるようになる。 ② 看取りケアについての心構えについて共通認識をもったケアが出来るようになる。	① 2回/月 (カンファレンス・ユニット会議)計画的な開催 ② 随時開催時
	(2)	働き続けやすい環境作り	誕生日月付近に連休を取得し心身ともにリフレッシュする事ができる。	該当月有給休暇 2日以上 の取得

### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務 ①	いつもと違うと思える観察力向上と気付いた事について職員間で話し合える環境作り、コミュニケーションの充

	<p>実を図る事で申し送りの漏れが無いようにする。気付いた内容について何が原因なのかを検討しケアの見直しを行っていく。</p>
財務 ②	<p>備品の置き場の確立が出来ていない事から無駄な発注に繋がっている為、置き場の整理と使用数の定数化の確立</p>
顧客 ①	<p>職員要因となる服薬事故を出さない為に定期的なロールプレイの実施、統一したケアの提供が継続できるようにする。また、定期的に個別提供マニュアルの更新を行う。内服に困難な事例が出た場合は多職種との連携を図り利用者様に苦痛なく服薬が出来るような対応の検討を速やかに行う。ヒヤリハットをもとに原因分析を行いケア統一を図る。小さな気づきからも対策を行い、大きな事故を未然に防ぐ</p>
業務 ①	<p>家族の面会時に日頃の様子などを職員から伝える機会を持ち、新たな情報の収集に繋げる。信頼関係の構築と、家族も安心して任せることが出来る、また来たいと思ってもらえるような関わりを増やす</p>
業務②	<p>① 整理整頓を行い仕事がしやすい環境づくり、作業の効率化に努める。備品在庫の把握がしやすくなり、必要なものがすぐに取り出せる。</p> <p>② 毎日の清掃・換気の継続を行うと共に手洗いうがいの徹底、感染源を持ち込まない、持ち出さない</p>
業務 ③	<p>生活の中での楽しみを増やし生活にメリハリをつけてもらう。利用者の好みに合わせてレクリエーションの提供を行っていく。体調面にも考慮しながら実施していく。</p>
人材 ①	<p>① 毎月のカンファレンス・ユニット会議の開催の継続と介護技術勉強会（実技演習あり）を開催し介助の統一と、他者に根拠が説明できるよう理解を深める。</p> <p>② 看取り期のケアについて、職員一人ひとりの心のケアを行いながら、これから迎える最期をどのように過ごしてもらうかを家族、多職種と連携を図り最高の看取りケアの提供が出来るようにする。</p>
人材 ②	<p>職員の誕生日付近の月に連休を取得できるように勤務の調整を行い、リフレッシュできる機会を設ける。</p>

#### 4. 行事計画（特養全体）

月	行事名	内容（目標）
4/23	観桜会	食事会、余興
6 月上旬	菖蒲湯	菖蒲湯につかり無病息災を願う
7/30	夏祭り	地域の方との交流
8 下旬	供養祭	
9/10	施設の敬老会	ご家族・法人役員と長寿を祝う
10/1	開所記念日	昼食時に開所記念行事食
11/23	新そば	そばうち実演、実食
12 中旬	ゆず湯	ゆず湯につかり無病息災を願う
12/28	かがみもち作り	もちつき、鏡餅作り
1/1	年賀品贈呈、甘酒	年賀品の贈呈
1 /5	新年会	昼食会&余興
1/10～	団子刺し	小正月（無病息災）
2 月上旬	お寿司の実演・実食	お寿司の実演・実食、

#### 行事計画（1階：やまざくら・まつ）

月	行事名	内容（目標）
4 月	創作活動	生活リハビリを兼ねてコミュニケーションを図る
	お花見ドライブ	お花見を通して気分転換を図る。
5 月	プランター花壇作り	プランターに花の苗を植える。毎日の水やり等を職員と共に行い花の生長を楽しむ。
	母の日	日頃の感謝の気持ちを込めて祝う。
	たこ焼きパーティー	みんなでたこ焼きを作り出来たてを味わう。
6 月	父の日	日頃の感謝の気持ちを込めて祝う。
	大掃除	大掃除を行い清潔な環境を作る。
	料理教室（餃子作り）	みんなで餃子を作り出来たてを味わう。
7 月	花火大会・すいか割り	夏の風物詩を楽しみコミュニケーションを図る。
	バーベキューパーティー	バーベキューを味わい、気分転換も図る。
8 月	料理教室（お好み焼き）	みんなでお好み焼きを作り出来たてを味わう。
	流しそうめん	季節感を味わってもらう。
9 月	お月見（饅頭づくり）	お供え物をし季節行事を楽しむ。
	運動会	運動会を通して体を動かす。
	創作活動	生活リハビリを兼ねてコミュニケーションを図る
10 月	紅葉狩りドライブ	紅葉狩りを通して気分転換を図る。

	プランター花壇作り	プランターに花の苗の植え替えや球根を植える。毎日の水やり等を職員と一緒に花の成長を楽しむ。
	ハロウィンパーティー	季節行事を行い皆で楽しむ。
11月	芋煮会	季節野菜たっぷり芋煮を作り皆で鍋を囲む。
	おでん	季節感を味わってもらう。
12月	クリスマス会	ケーキ作りを行いできる限り利用者によって頂きみんなで味わい楽しむ。プレゼントを用意する。
	鍋パーティー	鍋を囲んで皆で味わう。
	大掃除	大掃除を行い清潔な環境を作る。
1月	団子さし	小正月に団子さしを行い五穀豊穡を祈願する。
	書初め	季節行事を楽しむ。
	料理教室	みんなで料理をし出来たてを味わう。
2月	節分と太巻き寿司作り	季節行事である豆まきを行い福を招く。太巻き寿司を作り皆で食べて無病息災を願う。
	お菓子作り（バレンタイン）	利用者と共にお菓子作りを行い楽しむ。
3月	ひな祭り	雛人形や桃の花を飾り季節行事を楽しむ。
	お菓子作り（ホワイトデー）	利用者と共にお菓子作りを行い楽しむ。
年間	ドライブ	外出し季節を感じて頂く。気分転換を図る。
該当月	お誕生会	誕生日のお祝いを行う。

#### 行事計画（1階：もみじ・けやき）

月	行事名	内容（目標）
4月	お花見	ドライブを行い春を感じて頂く。
	お菓子づくり	季節の物を取り入れてお菓子をつくる。
5月	端午の節句創作レク	利用者と共に創作レクでこいのぼりを作り鑑賞する。
	お菓子作り	利用者と一緒にお菓子を作り楽しむ。
6月	料理作り	ホットプレート使用し調理を行い交流を深める。
7月	七夕、流しそうめん	笹の葉に飾り付けを行う。流しそうめんを楽しんで頂く。
8月	花火大会、スイカ割り	夏の風物詩を楽しむ。スイカ割りを通して交流を図る。
9月	お月見	お供え物をし季節行事を楽しむ。団子を作って月見を楽しむ。

	ぶどう狩り（ドライブ）	橋本農園に行き、季節の美味しい果物を食べる。
10月	芋煮会・バーベキュー	季節の食材を使って芋煮・料理を食べる。
11月	収穫祭（料理作り）	季節の食材を使って料理して味わう。
12月	クリスマス会	ケーキ作りをできる限り利用者に作っていただく。 クリスマスツリーと一緒に飾る。
	大掃除	ユニット内の大掃除を行う。
	ゆず湯	冬至にゆず湯に入ってください無病息災を願う。
1月	団子さし・おやつ作り	団子さしを行いユニットの繁栄と利用者の豊かな生活を願う。
	新年会（料理作り）	季節の食材を使って鍋を囲んで新年会を行う。
2月	節分と太巻きずし作り	季節行事である豆まきを行ない福を招く。太巻きずしを作り皆で食べて無病息災を願う。
3月	ひな祭り	雛人形や桃の花を飾り季節行事を楽しむ。
毎月	誕生会	誕生月の利用者をみんなで祝う。
毎月	ドライブ（外出支援）	気分転換や季節感を感じてもらおう。

#### 行事計画（2階：りんどう・ぼたん）

月	行事名	内容（目標）
4月	花壇作り	季節の花々を植え
5月	ドライブ	岩瀬牧場へ出かけ動物と触れ合う
	柏餅作り	端午の節句に柏餅を作って食する
	菖蒲湯	菖蒲湯に浸かり季節感を味わい健康を願う。
6月	運動会	体を動かし適度な汗をかく事で気分転換を図る
7月	七夕	短冊に願いを書き入れ笹に飾る
	流しそうめん	季節感を感じながら流しそうめんを楽しむ。
8月	花火大会	花火を鑑賞しながら夏の終わりをを感じる
9月	お月見	ススキを飾りお月見饅頭を作り食する
10月	運動会&芋煮会	体を動かし適度な汗をかく事で気分転換を図る
12月	クリスマス会	クリスマスケーキを作り皆で食しプレゼントを贈呈する。
	ゆず湯	季節を感じる。ゆず湯に入り体を温める。
1月	新年会	書き初め、昔ながらの正月遊びを行う。お茶会をしながら新年の抱負などを話したりする。
	団子さし	旧正月に団子さしを行い、その後お茶菓子を頂く。
2月	節分・料理作り	季節行事の豆まきを行い、太巻きを作って皆で食

		する。
3月	雛祭り	お菓子作りをする。雛人形を見ながら甘酒とお菓子を食する
毎月	料理教室（毎月）	12か月×¥3,000円（¥36,000）
	ドライブ	個人のお小遣いより
	誕生日会（該当月）	（月）¥1000円×12か月（¥12,000）

### 行事計画（2階：やまゆり・すみれ）

月	行事名	内容（目標）
4月	お花見	外出し、春の雰囲気味わって頂く。
	野菜、花植え、料理教室	季節の花々を植える。春に合った料理を作る。
5月	鯉のぼり見学	釈迦堂川の鯉のぼりを見学し季節感を味わっていただく
6月	菖蒲湯	旧節句の日に菖蒲湯を行い、楽しんでいただく。
	料理教室	利用者と職員とで協力して料理を作り楽しむ。
7月	七夕・料理教室	笹の葉に飾り付けを行い季節感を味わっていただく。夏に合った料理を作る。
8月	流しそうめん	夏の暑い時期に流しそうめんを行い、清涼感を味わって頂き楽しんでいただく。
	花火大会	花火を鑑賞しながら夏の終わりを感じる
9月	お月見	月見団子を作りお供えし、季節感を味わって頂く。
10月	ミニ運動会	利用者様同士の親睦をかね、体を動かして頂く。運動会に合った料理を作る。
11月	芋煮会	芋煮会を行っていただき、楽しんでいただく。
12月	柚子湯	冬至に柚子湯を行い、季節感を味わっていただく。
	クリスマス会	クリスマスの飾り・ケーキ・料理を作成し楽しんで頂く。
1月	団子さし	団子さしを行った後に見物をしてしながらお茶会を開く
	新年会	新年を祝い、書き初めを行った後お茶会をする。
2月	節分	オニの面の作成・豆まきを行い季節感を味わっていただく。恵方巻を作り、召し上がっていただき1年の健康を祈る。
3月	ひな祭り	手作りの雛人形等を作成・飾り付けを楽しんで頂く。
該当月	誕生日会	誕生日のお祝いを行う。
毎月	外出支援	計画的な外出支援の実施

# 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

## 短期入所生活介護

### 1. 目 標

- (1) 年間平均稼働率 84.8 パーセント  
 (2) 根拠を理解した介護を行える様になる

### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標 (値)
財務	①	コスト意識を持った業務	排尿状況の把握により、利用者に適したパット等の使用	パット使用量 月間で 1,000 枚以下
	②	なじみの環境を提供することができる	利用者個々の状況に応じた環境と生活リズムを提供し、毎月の利用者を増やす	登録利用者数に対して月次の利用者人数が 80% 以上
顧客	①	忘れもの、荷物誤混入が予防できる	ユニット内の整理整頓を行い、指差し点検を行う事で忘れ物を予防する	忘れ物、誤混入、 年間 15 件以下
	③	顔の見えるサービス提供を行う	送迎時や面会時に家族とコミュニケーションを取る	苦情年間 3 件以下
業務	①	転倒事故が防げる	随時、利用者のアセスメントを行い、転倒リスクの高い利用者に関して対応方法を検討する	転倒事故 年間 20 件以下
	②	利用中の楽しみが提供できる	レクリエーションを提供し、利用期間中の活動の充実を図る	月間のレク実施 平均回数 1,000 回
人材	①	根拠を理解した介護を行う	ミーティング時など根拠を説明し話せるようになる	サービス内容検討 月 5 件以上実施
	②	介護技術・知識の向上	ミーティング時に介助方法を検討しスキル向上を図る	ミーティング時に介助方法など小勉強会を行う



### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務①	引き続きの目標として、パットの適切な使用を行い、過剰な使用を抑制してコストの削減を図る。ショートステイのため日々利用者が入れ替わるが、それぞれの排泄のタイミング等を把握して行き、失禁前の誘導を行う事でトータルの使用パット量を減らしていく。
財務②	「また来たい」と思っただけ、安心して利用出来る様に居室環境を自宅と近いものに整備し、慣れ親しんだ動作で生活が送られる様にする。また趣味嗜好にそったレク等を提供し職員の接し方もそれぞれに応じた対応が出来る様にする
顧客①	平成 28 年度 1 月まで忘れ物 32 件（一昨年 39 件）と 1 月に 3 件ペースで発生している。様々な対策は取ってきているが、改めて退所時の荷物チェックを指差し確認、及びホワイトボードに漏れない様しっかりと記入する。職員間の声掛け励行し、荷物は利用者から預かっているものだとの意識づけも行う。
顧客②	職員が送迎に出ることにより、細やかな情報が収集できている。さらに家族とのコミュニケーションが図れる様にサマリーの書き方など指導行っていく。ご家族が施設主催の介護教室などにも参加していただける様に関係づくりをしていく。
業務①	転倒事故 22 件（1 月まで）と 1 月当たり 2 件の状況。利用の長い方が ADL 状況変化してきており、介助方法の見直しを行い転倒リスクに対応していく。
業務②	リピートにつなげる為にも利用期間をより楽しく活動的に過ごしてもらうため、レクリエーションを 1 日 2 回は行えるようにサービス提供していく。口腔体操は習慣として継続して行えているため、それ以外のレク活動を行う。
人材①	変化していく利用者状況に対応でき、顧客満足度を向上させるため、利用者のケース検討をミーティング時に行う。申し送りノートも活用し情報共有も行う
人材②	ミーティング時に介助方法を確認するとともに、基礎的な介助方法の確認や認知症への対応などを勉強する

#### 4. 行事計画

月	行事名	内容（目標）
4月	花見ドライブ	閉じこもりがちになる高齢者に季節を感じて頂く
5月	ドライブ（外食）	閉じこもりがちになる高齢者に季節を感じて頂く
6月	映画鑑賞会	懐かしい映画などプロジェクターを使用して鑑賞する
	ドライブ	民俗資料館など地域に密着した場所へドライブし地元へ愛着を持っていただく
	七夕・流しそうめん	支えの飾りつけを行い七夕に願いを掛け、流しそうめんを行う。手の動きの練習にする
8月	花火・スイカ割り	夜には花火を行い、利用者に季節を感じてもらう
9月	ドライブ	紅葉の時期に外出することで季節を感じていただく
10月	いわせ悠久祭り花火見学（施設3階廊下）	いわせ悠久祭りでの花火に合わせて、3階廊下で見学をする
	運動会	交流室や廊下を利用し身体全体の運動を楽しむ。
11月	文化の日展示	一年間で作った創作レクを展示し改めて作成した作品を鑑賞し、作った過程を回想しその時期を思い起こす
12月	クリスマス会・忘年会	各利用者に手伝って頂き、料理を作成し忘年会を行う
1月	新年会・団子さし	団子さしを行い小正月を祝う
2月	節分・豆まき	豆まきを行い、投げる動作で運動とストレス解消を狙う。
3月	ひな祭り	創作活動として雛飾りを作成し、甘酒などを召し上がって頂き、ひな祭りを祝う

# 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

## 通所介護

### 1. 目 標

- (1) 在宅生活継続の為に個別対応充実と情報共有による整合を図る。  
 (2) サービス数値化の（稼働率 87%）

### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標（値）
財務	(1)	利用登録と実績利用人数の安定	① 登録者 80 名の維持 ② 実利用 75 名の維持	①稼働 87%達成 ②実利用 75 名
顧客	(1)	個別ケアの充実	① 顧客ニーズの見直しと発掘	自宅生活状況確認とアセスメント反映（1人20名）
	(2)	サービス可視化への取り組み	① FIM 評価による共有 ② 個人プログラムのデータ化	数値化サービスの実施結果報告
業務	(1)	家族理解の構築と情報共有	①送迎時申し送りの充実 ②家族満足度 10%向上	申し送り月 40 件/1人
	(2)	利用者の出来る事を1つでも増やす。	潜在能力の気づきと過剰介護防止に努める。	シート活用での実績判断（20名/1）
人材	(1)	外部ボランティアの活用継続	①地域理解の促進 ②社会参加機会の提供	新規ボランティアの活用 6 件
	(2)	個人スキルアップ	外部研修参加の促進で個人スキルを上げる	1人年2回以上

### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務①	① 現行スケジュール管理の継続と遂行 ② 1人平均回数対前年-0.2%程度（目標値 2.1~2.2回） ③ 登録人数の増員の為に居宅理解の継続と遂行
顧客①	各利用者ニーズ及び自宅生活状況の把握により、利用中の過ごし方の見直しを図り、利用者・家族の求めるサービスを使

	用中の日課選択シートへ反映していく。
顧客②	主に情報共有ツールとしてスタートして各利用者の ADL 評価を実施。又その評価結果に基づくサービスへ繋がられる様に日課選択課目をデータ化しサービスの数値化を目指し、見えるサービスと根拠を示すサービスの確立を図る。 自宅介護とサービス介護の整合性を図るのが目的。
業務①	前年度も目標に掲げ家族との情報交換を図ってきたが各職員が必要となる情報の収集と確認作業により更に充実した家族との会話（情報交換）を目指し結果として満足度の数値向上を目指す。
業務②	アセスメントシートを利用し各利用者の潜在能力へアプローチを行う事で職員の過剰介護の防止と ADL 向上につなげる。
人材①	前年度述べ 110 名のボランティア実績をベースに地域理解の向上と情報発信・サービス内容の理解等を目的に更に外部ボランティアの利用促進に取り組み、地域開放を目指す。
人材②	個人スキルアップの為にこれまで比較的参加が難しい外部研修をターゲットに各職員最低 2 回の参加とし、日常のサービス提供へとつなげていく。

#### 4. 行事計画

月	行事名	内容（目標）
4 月	花見ドライブ	閉じこもりがちになる高齢者に季節を感じて頂く
	花壇作り・ガーデニング	植物を育てる楽しさや身体を動かす草むしり収穫の楽しみを感じて頂く。
5 月	菖蒲湯	丈夫につながる菖蒲をお風呂に入れ入浴し身体堅固を祈念する
	花壇作り・ガーデニング	植物を育てる楽しさや身体を動かす草むしり収穫の楽しみを感じて頂く。
	牡丹園ドライブ	牡丹園見学も含めての外出機会の提供
6 月	七夕	笹の葉飾りを創作レクに取り入れ作成・飾りを行い 1 年の目標を短冊に記入する。
	ドライブ	あやめ見学等も含めて外出機会を作る
8 月	流しそうめん	夏の風物詩として季節感・納涼感を楽しむ。
9 月	敬老会	敬老の日に当たり日ごろの利用に感謝状を贈呈す

		る。
10月	体力測定	簡易スケールを用いて測定し現状を知る。
12月	そば祭り	ボランティアの方に来て頂き新そばを楽しむ。
	クリスマスケーキ作り	各利用者に手伝って頂き、クリスマスケーキを作成する。創作レクとしては牛乳パックなどを利用してクリスマスツリーを作る
	餅つき	ボランティアの方に来て頂き、新年の準備を体感する
1月	団子さし	小正月に無病息災を祈念する。
2月	節分・豆まき	豆まきを行い、投げる動作で運動とストレス解消を狙う。
毎月	おやつ作り	調理機会を増やす事で手先の運動と家事を行っていた頃の回想法につなげる。
	変わり風呂	入浴の楽しみと温浴効果 (柚子・生姜・りんご・みかん・レモン・備長炭等)
	誕生会	アルバム形式での利用報告を兼ねた粗品進呈
不定期	外出	地域コミュニティへの外出と社会活動 (公民館や集会場での催しへの参加)

# 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

居宅介護支援事業所

## 1. 目 標

- (1) プラン実績数を安定させる
- (2) サービスの質の向上に努める

## 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標(値)
財務	(1)	プラン実績数の確保	実績数の維持	毎月平均 55 件以上
	(2)	認定調査の受け入れ	認定調査の実施	年間で 24 件
顧客	(1)	利用者・家族の満足度の向上	利用者・家族の意向に沿った対応	アンケートで満足度 80%
	(2)	利用者・家族との信頼関係の構築	利用者・家族との連携	アンケートで満足度 80%
業務	(1)	適切なサービスの提案・提供	アセスメント・モニタリングの徹底	①月に 1 度以上の訪問 ②アンケートで満足度 80%
	(2)	行政・包括・事業所との連携の強化	情報の共有	月に 1 度以上の訪問
人材	(1)	スキルアップ	内外の研修会参加	年 6 回以上
	(2)	精神衛生	① リフレッシュの為の休暇の取得 ② 完全休日の確保	随時

### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務一(1)	調整を図りながら新規プランを受け入れる。
財務一(2)	① 毎月定期的に受け入れ実施する。 ② マニュアルに沿って実施する。
顧客一(1)	① アンケートを実施する。 ② 真の意向に沿って対応する。
顧客一(2)	① 相談や依頼に迅速に対応する。 ② 連絡を密にする。
業務一(1)	アセスメント、モニタリングを徹底し、専門性に沿った適切なサービスを提案・提供する。
業務一(2)	① 連絡を密にし、情報を共有する。 ② 書類類等は期日までに配付する。
人材一(1)	内外の研修会に参加し、専門的な知識を習得する。
人材一(2)	心身共にリフレッシュする為、定期的に休暇を取る。

# 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

## 訪問介護

### 1. 目 標

- (1) 年間延べ利用者月平均 4.5 人の達成
- (2) 訪問ケアサービスの質の確立

### 2. 事業計画達成のための業務目標

視点	番号	業務目標	業務内容	具体的目標 (値)
財務	(1)	全国平均利用単価の達成	居宅介護支援事業所へ訪問しての実績報告などを行い認知度アップ	59,000 円/月/1人
顧客	(1)	訪問介護サービス業務の確立	訪問介護計画書を作成して利用者一人ひとりにあったサービスの提供	訪問介護計画書を作成し家族、ケアマネへ配布(全顧客)
	(2)	長寿苑訪問介護の認知度拡大	居宅介護支援事業所へ訪問しての実績報告などを行い認知度アップ	登録者数 10 名
業務	(1)	長寿苑、訪問介護業務の手順確立	訪問介護業務手順書を作成して業務の標準化を図る	訪問介護業務マニュアルの作成
人材	(1)	訪問介護員の介護技術の標準化	施設内勉強会の開催	登録ヘルパー対象/月 1 回



### 3. 目標数値達成のための具体的計画

業務内容	具体的活動計画
財務 ①	<b>【全国平均利用単価の達成】</b> 顧客の潜在的なニーズを把握し、ケアマネージャーへ実績の報告の際などに提案営業を行い、長寿苑訪問介護の認知度を高めていき、利用者の獲得及び全国平均利用単価を確保を出来るようにしていく
顧客 ①	<b>【訪問介護サービス業務の確立】</b> 訪問介護計画書を作成し利用者のニーズに合わせたケアの提供をする。利用者、家族、ケアマネ、他職種と定期的な担当者会議の開催により情報交換と計画書の見直し、計画書の提示を行う。
顧客 ②	<b>【長寿苑訪問介護の認知度拡大】</b> 定期的な居宅介護支援事業所への訪問（1/M）を行い長寿苑の訪問介護事業をアピールし認知度アップに繋げる。
業務 ①	<b>【長寿苑訪問介護業務の手順確率】</b> マニュアルの作成、整備を行う。
人材 ①	<b>【訪問介護員の介護技術の標準化】</b> 登録ヘルパーを中心に月1度の施設内勉強会の開催を行う。

# 平成 29 年度 事業所別事業計画

事業所・ユニット名

## 介護職員初任者研修事業

### 1. 目 標

- (1) 当法人職員人材教育能力の向上
- (2) 地域における福祉理解向上と人材育成

### 2. 具体的計画

業務内容	具体的活動計画
第 1 回介護職員初任者研修	平成 30 年 1 月～3 月 (予定)
募集人員及び受講費用	20 名 30,000 円
募集実施地域	須賀川市・郡山市・鏡石町・矢吹町・天栄村
募集方法	新聞折込広告・ホームページ・地域回覧板

(提案者) 平成 29 年 3 月 27 日

社会福祉法人 いわせ長寿会 理事長 菅原 治